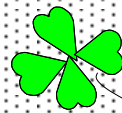


こんにちは きづき通信 です



第 4 号 2013. 6. 27

第 4 回通常総会が無事終了しました

代表 岩田文子

かたつむりが喜ぶ季節となりましたが、皆さまにおかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

お陰さまで去る 5 月 18 日に無事総会も終わることができました。皆様のご協力があったのことに感謝申し上げます。今回は正会員、賛助会員、債権者、御家族の皆様方にご参加いただき「きづき」の報告をさせていただきました。アトラクションには座間市や各地でご活躍の「ウクレレ ZAMA」さんの演奏で懐かしいメロデーを聞いて和むことができました。

平成 24 年度の利用者状況は 1 都 6 市から通所され、年代も 10 代から 50 代と広がっています。男女比は、女性が 17 名、男性 3 名で、参加状況も平成 24 年 4 月には述べ 91 名、平成 25 年 3 月には述べ 164 名と増えております。活動も厨房作業では、定番のカレーやオムライス作りは多くの方がチャレンジし、薬膳ごはんは「自宅でも作ってみた」という声も聞きました。エコボール作業もメディア（タウンニュース、神奈川新聞、TVK ニュース等）にも取り上げられて利用者の方も喜んでます。座間総合高校、座間高校、大和高校、横浜隼人高校にご協力いただいております。さらに広がりを見せております。PC 作業はスキルもアップし、レシピ修正、統計、フェイスブック（インターネット上の紹介交流）などを頑張っこなしています。店内のギャラリーや伝言板も多くの皆さまにご利用頂いたり、ご覧頂いております。

昨年 12 月に利用者の方々に、「きづき」を利用して良かったこと、不満を感じていること、改善して欲しいこと、今後やってみたいことなどのアンケートをとりました。抜粋でご紹介しようと思ったのですが、ご意見がさまざまですので、全文を載せさせていただきます。

<利用者アンケート結果>

H24 年 12 月実施: 14 名全登録者配布(回収 10 名、回収率 71%)

1・利用して良かった事はなんですか

- 生活リズムなどが徐々に改善された
- 厨房内での作業が自宅での諸々に活かされている
- スタッフや利用者とのコミュニケーションで、人付き合いが苦手ではなくなりつつある
- 精神疾患を持つ当事者として、同じ苦しみを持つ利用者同士の総合理解の場がある
- 当事者として苦しむ人々の心のオアシスがある
- 「もっと通えるようになろう」とか「作業で〇〇を作ろう、覚えよう」とか、目標ができたこと
- 会話がうまくできるか不安だったけれど、利用者さんやスタッフさんと話をし、すこしづつ不安がとれてきたこと

- 生活リズムが整います
- 料理に興味があわいてきた
- 自宅、通院している病院、デイケア以外の居場所ができたこと
- 働く事の楽しさを感じる事ができた
- スタッフさんや利用者の皆さんがいい方でほっこりする
- なんとなくですが、生活リズムが良くなってきたこと
- たくさんの仲間ができたこと
- スタッフの方に恵まれたこと
- エコボールができること
- 他の事業所の作業より、やりがいを感じる(カフェ形態)
- 一生治らない心に残された病気を相手に作られたが、きづきに通って治っています
- きづきで働いてみたいと思っていて夢がかないました



絵 (T・A)

2. 不満を感じている事はありますか

- 利用者の中にモチベーションが下がることを時々言う人がいる
- 利用者は基本、勝手に動くことを止められているため、繁忙期の作業内容によっては利用者がその都度スタッフに確認を取らなければならない都合上、些細なことでもチームプレー的な小回りが利かないときがある
- スタッフが利用者の状況によっては付きっきりになってしまうときがあるため、繁忙期に人員が手薄になることがある
- 変化が急激な時がある
- 利用者の少ない日に作業がかたよることがある
- 色々なことを体験させてほしい
- (人の愚痴になってしまうが) 昼食が楽しく食べられない時がある
- (仕方がないのかなとも思うが) 人間関係のゴタゴタがイヤです
- 今、きづきに通って具合が収まっていますが、もし、未来のことが心配です

3. 改善してほしいこと、直してほしいことはありますか

- スタッフ、利用者含め皆が不愉快にならないように普段から心掛けること
- (無理かもしれませんが) 食事ができるところを増やしてください
- 映画鑑賞で普通の映画もやってほしい

4. 今後やってみたいことはありますか

- 現在、共同経営に少し興味を持っているため、利用者同士で、それに似たことが出来ればと感じています(夢です)
- 共同経営は事業に所属する者、皆が経営者。事業の良し悪しがあるまま工賃に反映されるため皆が積極的になりやすいのではないかと考えます。もっとも、当事者が絡むと難しい問題ではないかとも考えています
- 土曜日に気功
- キャリア・ガイダンスに参加したり、PCの使い方など就職に必要なことを勉強したい
- エコボールとPC
- 外出(江の島、どこかの公園、ボーリングなど)
- 月に1回の個人面談
- 映画鑑賞のような楽しい企画があるとよいと思う

5. その他、ありますか

- いつも我々利用者のことを親身になってお付き合いくださるスタッフの皆さん、本当にありがとうございます
- 体力の面でもちゃんと通えるのか心配だったのですが、自分の体調に合わせて通えるところが良かったです
- 日数を増やす、時間を増やす
- クリスマス会でキーボードを皆の前で弾かせてくれて、心に一生のうれしい思い出ができました。今はエコボールが楽しいです。掃除に脚立を使わせてくれて、神経質が違うことを分かってくれた感じがします

この事業は利用者が通所しながら、就労の機会を通じて生産活動にかかる知識や能力の向上を目指しながら社会参加する場所です。さまざまな活動や関わりを通して、少しずつ自信の蓄積ができることを願っています。そして、疲れた時は自分を表現できる場、元気を取り戻せる場となり、基点となること目指して、職員一同研鑽を積んでまいります。

今後も、利用される方が、笑顔で希望と誇りを持てるような場所として活動を続ける所存でおります。

日頃より、皆さまの暖かいご理解とご協力をご感謝申し上げます

スタッフ紹介

生活支援員 谷田 有紗



絵 (T・A)

昨年の9月からスタッフとして利用者の皆さんとお仕事をさせていただいております、谷田と申します。カフェ部門に携わっており、利用者さんと楽しく調理や接客を行っています。

福祉の分野でのお仕事は初めてですが、学生時代に福祉を学んでいたことがあり、また“人とのコミュニケーション”を大切にする環境で働きたいと思い、ご縁があったのがきづきでした。

利用者や他のスタッフの皆さんとお仕事をして早10か月になりますが、毎日新しい“きづき”があり、その中には利用者さんに気づかせていただくことも多いです。相手を目の前にした“生のコミュニケーション”には、電子メールやインターネット上のやりとりでは味わうことのできない、人の温もりを感じることができる素晴らしさに改めて気づくことができたのも利用者さんのおかげです。

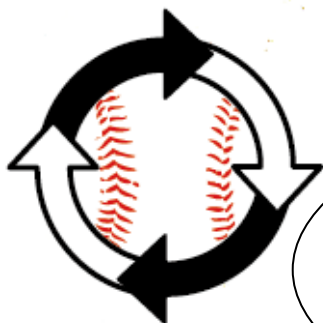
“人とのコミュニケーション”の難しさに直面することもしばしばですが、どのような「言葉」で、「表情」で、「態度」で、「仕草」で、「方法」で、相手と向き合い、物事を伝えたらよいか日々考えさせられ、私自身も成長させていただいているような気がします。

これからも皆さんとのコミュニケーションを大切に、皆さんの生活や就労のサポートをしていけるよう努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

お願い

エコボール部門が新聞、テレビに取り上げられ、広がりを感じておりますが、作業をする利用者が足りていません。ぜひ、皆さまのお力をお借しいただければと思います。

ご連絡をお待ちしております。



みんなの声

出会い 千

「あなた、運が良いわよ!!」と言われて入ったのが、「きづき」との出会いの始まりでした。まだ、寒さが残る季節、座間市主催の講演会「べてるの家の当事者研究」講演会に参加し、「きづき」のパンフレットをもらいました。そのパンフレットを見ながらチーズケーキに目のない私は、後日、Cafe きづきにお茶をしに行きました。

そこに至るまで、数々の偶然がありました。それが、「きづき」との出会いへと…

偶然①パンフレット片手に歩き、迷っていたら一人の女性が道を教えてくれたこと。

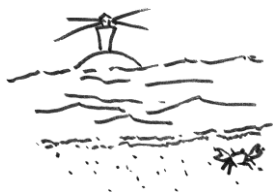
偶然②そこで話を車の中から聞いてくれていた女性が「姉ちゃん、私の車に乗って行きな!!」と言ってくれ、車に乗せてくれて、「きづき」まで送ってくれたこと。

偶然③ところが、Cafe きづきが定休日であらぬ、私は店の外にあるベンチでしゃがみこんでいると、岩田さんが現れて中に入れてくれたこと。

偶然④「明日、キャリア・ガイダンスがあるんだけど、あなたも参加しない?」と言われ、トントン拍子で「きづき」で働くことになり、みんなとの運命的な出会いを果たしたことです。そして今、私は数々の偶然のおかげで素敵な仲間達やスタッフと共に働いています。

「きづき」に通って N

時間など少しずつですが、通って1年が経ちました。通っていくうち生活のリズムが整ってきて、コミュニケーションの不安も和らげられました。体調を崩してしまった時も、以前と違って通う所があると思うと心持ちが違います。パソコンの作業も、いろいろと教えてもらいながら掲示物などが出来上がると嬉しいです。これからも「きづき」に通いながら自分に出来ることを増やしていきたいです。



絵 (T・A)

皆に支えられて T・I

「きづき」に登録してから1年が経ちました。それまでは、公使ともに色々あって自宅に引きこもり、外出することが少ない日々を送っていました。ちょうど1年ほど前、ハローワーク主催の障害者向け就職活動ガイダンスが“Cafe きづき”で開催されることを知り、イベントに参加するため来店したら、そこには20年ほど前に自分がバイトをしていたコンビニのあった場所だとわかり、何か縁の様なものを感じました。当日頂いたパンフレットの中に“Cafe きづき”を紹介するものもあり、興味を持ち、ここの利用者となりました。スタッフや利用者の皆さんに良くして頂いたお陰で、今では一戦力として活躍できるようになりました。Cafe では軽食、デザートその他に限定10食の“薬膳ごはん”を作る日もあり、自宅での料理の参考にもなり楽しみが増えました。私自身、統合失調症で10年以上心療内科へ通院していますが、同じ当事者として苦しんでいる利用者仲間の皆さんとも苦楽をともにしながら相互理解ができる、代表の岩田さんを中心に皆が家族のような“きづき”は、数少ない貴重な場所だと思います。これからもスタッフの皆さんや利用者仲間の皆さん、常連客の皆様を始め、「きづき」とつながりのある方々に感謝しながら社会復帰できるように精進していきたく思います。

皆様のご参加を
お待ちしております

日本全国でご活躍中のSSTリーダー
高森信子先生の

回復力を高める コミュニケーション術

お困りごと、悩みごとを高森先生と楽しく、一緒に考えませんか

心の病を抱えている方のご家族、支援者の講座(家族SST)です。
さわやかなコミュニケーションを目指しながら、
お互いに元気になるような接し方を学びます

SSTとは Social Skills Training の略で生活技能訓練と訳されています。
生活していく時に起きるできごとを受け止め、次の行動を練習して、
実行していく力をつけていくものです。家族や支援者が接し方を学ぶことで
当事者の回復力を高めることが期待できます。

≪ 講座予定 ≫

会場 (ハーモニーホール2階大会議室)

回	日時	タイトル
1	8月3日(土) 午後1時30分～4時	病気を理解して、相手を知ろう (理論に基づいた心理教育等の学習)
2	9月7日(土) 午後1時30分～4時	問題解決ワークショップ・パートⅠ (困った事、苦手な事への対応)
3	11月9日(土) 午後1時30分～4時	問題解決ワークショップ・パートⅡ (困った事、苦手な事への対応)
4	平成26年1月11日(土) 午後1時30分～4時	問題解決ワークショップ・パートⅢ (困った事、苦手な事への対応・当事者本人と共に学べます)

お申し込みは
生涯学習課

TEL 046 (252) 8472

Fax 046 (252) 4311

定員: 各約30人
(お申し込み順)

費用: 各回500円
(受講費、飲物ケーキ代)

主催: 特定非営利活動法人 きづき



就労継続支援事業所「Cafe きづき」
座間市生涯学習課

主なイベント報告



第3回キャリア・ガイダンス「模擬面接」では20名の参加があり、「面接の仕方での勉強になった」、「参加型で良かった」、「具体的で良かった」等のご感想や、次回の希望は「採用する企業側の人の話を聞きたい」等の意見がありました。



誕生会を3回（10・11・12月生まれ、1・2・3月生まれ、4・5・6月生まれ）開きました。利用者さんのエレクトーン伴奏でバースデーソングを歌ったり、ゲームをしたりして、にぎやかな一時を過ごしました。



チーズケーキはCafeきづきの人気商品ですが、新商品の試作として、陳皮の入った薬膳ガトーショコラに挑戦しました。メニューも色々と考えて模索中です。



6月3日にテレビ神奈川のニュース番組で、「エコボール事業」が撮り上げられて、5月31日に取材を受けました。利用者の方たちは落ち着いて、しっかりと口調で話されていました。



発行 特定非営利活動法人きづき
就労継続支援B型事業所「Cafe きづき」

〒252-0021

神奈川県座間市緑ヶ丘5-6-28

TEL : 046-244-6915

FAX : 046-244-6916

e-mail : hopekiduki@lagoon.ocn.ne.jp

<http://www4.ocn.ne.jp/~kidukiwa/>

<編集後記>

先日、大和市の研修会で高森信子先生の80歳とは思えないパワフルで、つい笑顔がでてしまう講座に出会いました。とても勉強になり元気ができました。年間300回の活動をなさっているそうです。すごいです！8月からの講座をぜひ楽しみにしたいと思います。

今年度も専門学校生の実習生を受け入れることが決まりました。いろいろなつながりが、良い「きづき」としてこれからも、スタッフ、利用者、共に研鑽に励んでいきたいと思えます。よろしくお願い申し上げます。